

世界に挑む若き技術者

立命館守山高等学校2年生

とみおか だい き
富岡 大貴さん (八幡中山町)



試合前にロボットの調整をする富岡さん。ロボットは、設計から部品の加工、プログラムまですべて参加者の手作りであることがルール。試合中は、そのプログラムによりロボットが自律的に動き、競技を行います。



撮影場所：長浜市役所

独自に設計製作した自律型ロボットでサッカー等の競技を行う大会「ロボカップジュニア」。富岡さんは、昨年7月にシドニーで行われた世界大会に、立命館守山高校のロボット製作チーム「LEGEND」の主将として出場し、見事第3位の快挙を成し遂げました。

ロボットとの出会いは小学2年生の時。ブロック玩具で複雑な作品を次々に作り上げるほど立体感覚に優れていた富岡さんは、ブロック玩具で作るロボットを知り興味を持ちます。しかし、専門性が高く教室なども近くにないため、手がかりをつかもうと訪れたのが、ロボカップジュニアでした。そして、そこでの数々の出会いから物語が始まります。

市外で行われる練習会で知識と技術

を磨く日々。参加グループのレベルは非常に高く、ライバルでありながら憧れの存在だったといいます。そして周囲の熱意に触発されてロボットの世界にさらにのめり込み、4年生で全国大会出場を果たします。しかし、ともに練習するチームが世界大会に進出したことで、「世界」という大舞台が明確な目標として富岡さんの瞳に映ります。

転機は中学2年生。高度な工作機械での作業やプログラミングなど新たな段階に挑みますが、結果は「一度もロボットが思い通りに動かなかった」。常連として名を連ねつつあった全国大会への出場権を得ることなく、シーズンを終えます。落ち込んで前を向けない時期が続きますが、あきらめきれない気持

ちと悔しさをバネに再起。「両親の行動力のおかげ。夢を共有し、いつも積極的に働きかけてくれる」と感謝の気持ちをにじませます。

日々進歩する技術やライバルたちをしのぐ成長が求められる厳しい世界で、常にチャレンジを続けます。世界大会では、素材の見直しで思い切った軽量化を図り、カメラやセンサー、ボールを操る新たなしくみの搭載に成功。大会史上類を見ないロボットを投入しました。「失敗からしか学べないことがある。ミスを恐れるより、新しい挑戦をしたい」。

「世界一」の称号まで、登る階段はあと2つ。かつて富岡さんが先駆者たちを見つめた同じ視線が、今では富岡さんの背中に注がれています。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。



毎日元気いっぱいのそうちゃん、家族みんなを笑顔にしてくれます。
これからもすくすく育ってね！

長嶺 壮佑 ちゃん (平成31年4月生まれ)
(田町)

河野 京 ちゃん (平成31年1月生まれ)
(高月町柏原)



京くん1歳おめでとう♡京の可愛い笑顔で幸せいっぱいです♡ありがとう♡
これからも元気に育ってね！

まちの人口	令和元年12月1日現在	人口117,967人	男57,892人	女60,075人	世帯数46,315世帯
	令和元年11月中の異動	転入253人	転出249人	出生75人	死亡119人 婚姻73件